

Kushiro City General Hospital
市立釧路総合病院 看護部



地域完結型医療を目指して

2027年7月 新病院開院



ホスピタルホール



救急外来



外来



入院病棟

病院理念

信頼と満足の創造

看護部理念

個人の尊重と心のこもった看護

1. 患者・家族の人権を守り、最善の看護に努めます。
2. 看護の質向上に努め、安全で信頼される看護を目指します。

看護部運営方針

1. 患者・家族を尊重し、満足される心のこもった看護ができる。
2. 看護の専門性を発揮し、安全・安心・安楽な看護が提供できる。
3. 心豊かな人間性を養い、常に学習することを怠らず、自己研鑽に努める。
4. 変化する時代の要請に応え、医療チームの一員として病院運営に関わる。
5. 「人」を大切にし、「人」が育つ組織づくりに努める。

看護部長からのメッセージ



看護部長 鈴木 直美

広大な地域を守る高い専門性と一人ひとりの人生に寄り添う看護を目指して

広大な釧路・根室圏域の基幹病院である当院は、救命救急センターやドクターヘリ基地病院に指定され、高度急性期医療から緩和ケアまで幅広い医療を提供しています。看護部は、「個人の尊重と心のこもった看護」を理念としています。看護職が高い実践能力をいかし患者・家族の思いに寄り添い、安心・信頼できる看護が提供できるよう目指しています。そのため、看護職一人一人が、いきいきと働き続けられる職場環境の整備と、専門性の高い看護職の育成に力を入れております。また、専門看護師、認定看護師、特定看護師、など多くのスペシャリストが在籍しており、病院から地域へと幅広く活躍し、地域住民の健康維持増進に努めるなど社会貢献にも取り組んでおります。働き続けられる体制づくりとしては、多様な勤務形態の開発、多職種との連携強化、DXの導入など積極的に実践しています。2027年7月より新病院が開院となります。更にパワーアップした病院で、私たちと一緒に働きませんか?心よりお待ちしております。



私たちと一緒に地域医療を支えませんか

平成21年より
基地病院としてドクターヘリの運航を開始

世界3大夕日を望む春湖台に位置し、道東の基幹病院として、看護部の理念の実践を目指しています。

概要

道東の中核を担う病院で一緒に働いてみませんか?

- 病床数：599床
- 診療科目：32科

内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、小児科、外科
心臓血管外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科
精神科、神経科、眼科、脳神経外科、麻酔科、放射線治療科、歯科
歯科口腔外科、リウマチ科、リハビリテーション科、アレルギー科
病理診断科、形成外科、救急科、頭頸部外科、呼吸器外科
消化器外科、乳腺外科、緩和ケア内科、放射線診断科

- 地域医療連携
- チーム医療

- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域周産期母子医療センター

- 災害拠点病院
- DMAT指定医療機関
- 臨床研修医指定病院

職員数 1100名 看護師数 688名

※令和8年2月1日現在

1日の外来患者数

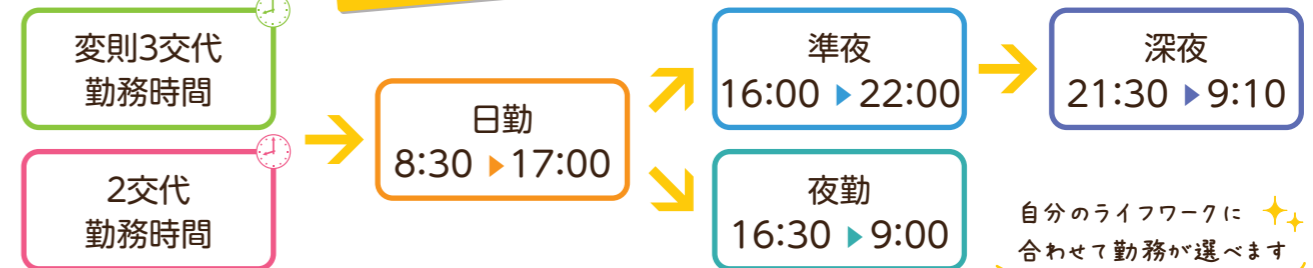
約1100名

1日の入院患者数

約420名

勤務体制 勤務時間

2交代勤務・変則3交代勤務



昇給/年1回

- 休日：週休2日制、土・日・祝日・年末年始(12/29~1/3)
※交代勤務による振り替えあり
- 年次休暇 年20日(繰越最大20日)
夏季休暇4日 病気休暇 年90日
- その他：結婚、忌引、介護、特殊休暇など

メンタルヘルス

職員のメンタルヘルスも管理しています。定期的にストレスチェックし、必要時は面談やカウンセリングの案内など職員の健康を心身からサポートしています。

子育て支援

当院では子育て中の看護師が多数在籍しています。育児休暇は子が3歳に達するまで仕事を休むことができます。院内保育所が小学校就学前まで利用でき、育児短時間勤務では子が小学校に就学に達するまで、勤務時間を短縮して働くことができます。子の看護休暇では中学校就学前の子の看病や通院付き添いのための休暇もあります。

市立釧路総合病院 看護師クリニカルラダー構造



教育カリキュラム

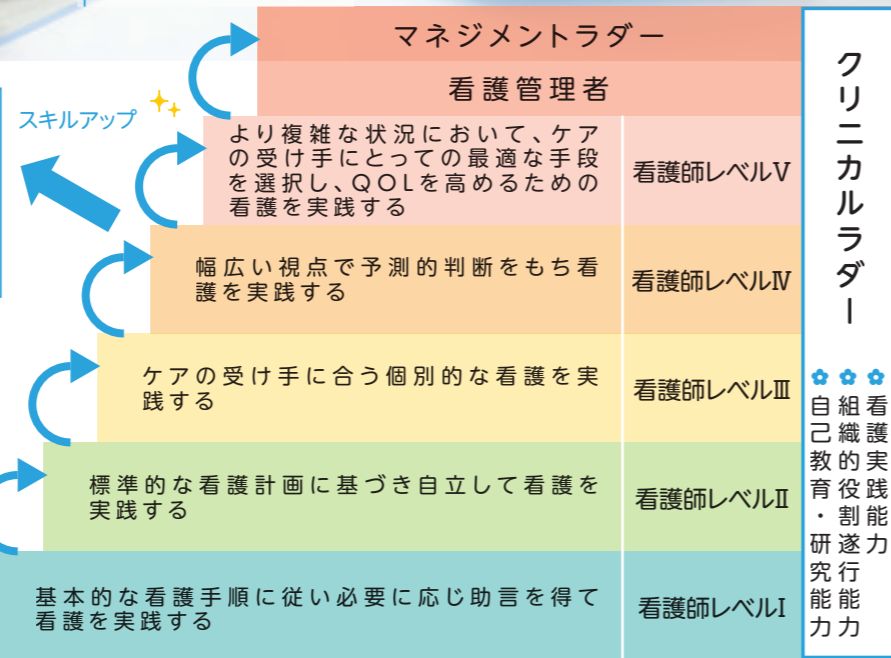
看護部教育理念

心豊かな人間性を養い、患者・家族の人権を守り、安全で質の高い医療・看護を提供できる看護職を育成します。

教育目標

1. 科学的根拠に基づいた看護ケアが実践できる看護職を育成します。
2. 多職種と協働し、患者中心のチーム医療が実践できる看護職を育成します。
3. 生涯学習する姿勢を継続できる看護職を育成します。
4. 問題意識を持ち、看護研究に取り組むことができる看護職を育成します。
5. 教育的環境を整え、学生や職場復帰を支援します。

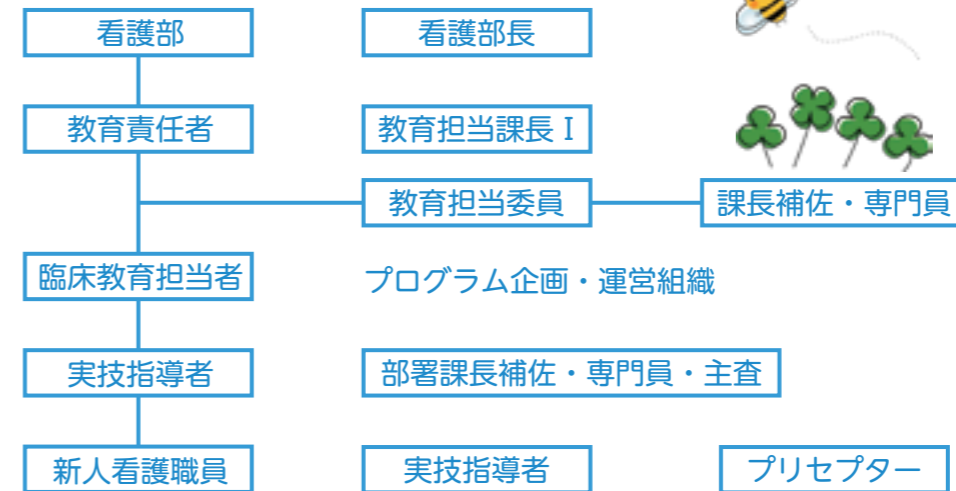
専門看護師
認定看護師
特定行為看護師



クリニカルラダー

自己組織的実践能力
教育的実践能力
研究能力

新人看護職員研修における指導体制



急変時対応・BLSについて講義を受けました。講義後、人工呼吸や心臓マッサージの演習を行いました。また、急変時の初期対応について緊迫感のある演習の中で、新人看護師でもできることがあることを学びました。日頃の観察や患者の訴えをアセスメントに活かしていくことが大切であることを学び、今後の課題を見出す研修となりました。

プロセスレコードとは、プロセスレコードの書き方と看護の振り返りの方法について講義を受けました。その後、実際に看護の一場面のプロセスレコードを記述し、患者様との関わりを振り返り分析したことで、自身の傾向を知ることや、患者様の言動の意図などに気付くことができ、自身の看護を振り返ることの大切さを学ぶことができました。

3人部屋の患者さんの検温を想定したシミュレーションを行い、複数患者へのアセスメント、優先順位を考えた行動について検討しました。アセスメント方法、情報収集する力に加え、優先順位を考えることの重要性を学ぶことができました。また、フィジカルアセスメントの重要性についても再認識でき、本年度積み重ねてきた研修や日々の学習の成果を実感することができました。

新人看護師のコメント



消化器内科では幅広い疾患や検査があり、日々沢山の学びがあります。毎月先輩看護師と目標を決め、振り返りをする中で

少しずつできることが増え、自信に繋がっています。

1日で数人の患者さんを受け持つため、学生の時に比べて1人の患者さんと関わる時間が少なく、患者さんの思いを受け止めきれず、もどかしさを感じることも多くあります。しかし、患者さんから感謝や安心するという言葉を聞いた時には、自分の関わりはよかったのかなどやりがいを感じています。まだまだ不足していることやわからないことも多くありますが、看護師として責任を持ちながら日々学びを深めていきたいです。



配属当初と比べると、自分にできることが少しずつ増え、やりがいや楽しさを感じながら働けるようになってきました。先輩方の丁寧な指導のもと、患者様の気持ちを尊重した看護の大切さを学んでいます。一方で、自身の未熟さや課題を感じる場面も多く、患者様一人ひとりに合った関わり方の難しさを実感することもあります。今後患者様と真摯に向き合い、責任感をもって学習と経験を積み重ね、よりよい看護を提供できるよう成長していきたいです。



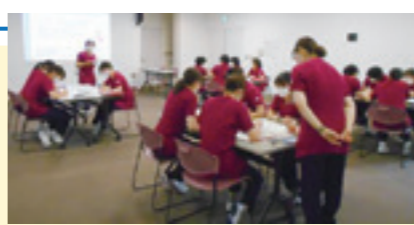
オリエンテーションを受けた後、院長より辞命を受け社会人として歩み始めました。集合研修では、病院組織や看護組織、医療安全や感染対策などについて講義を受けたほか、静脈血採血などの看護技術の演習も実施しました。社会人、看護師としての責任を自覚し、専門職として行動することの重要性を学びました。

ローテーション研修は、病棟に2~3名ずつ配属され、実技指導者が中心となり指導を受けながら看護技術の実践を行います。5日間ずつ3つの病棟を経験し、面談で希望を確認してから配属病棟が決定します。5月より配属先での研修が始まり、患者さんの安全・安楽を考慮した看護ケアの実践を学びながら、基本的看護技術の習得に向け日々学習しています。

1年目の看護師の悩み、メンタルヘルスケア、看護師ができるストレス対処法について講義を受けました。就職して2か月が経過し業務に慣れ始めてきた時期ですが、同時に、生活リズムや環境の変化、慣れない人間関係や業務によるストレスが増してくる時期でもあります。自分自身の傾向を知り、対処法を学びました。

栄養科、薬剤部、放射線科、検査科、看護部の医療事故防止対策について講義がありました。看護部の講義では、患者誤認防止対策についてシミュレーションを実施し、現場での自分の行動を振り返ることができました。また、多職種との連携を通して医療安全に努める必要があることを学びました。

フィジカルアセスメント研修



フィジカルアセスメント、フィジカルイグザミネーションについての講義のあと、受講生がお互いに正常呼吸音の聴取、シミュレーターを使用し異常音の聴取を演習しました。また看護過程についての講義のあと、提示された事例をアセスメントし、ケアを見出すグループワークを行い、意見交換することで学びを深めることができました。看護の基礎となるフィジカルアセスメントや意識的な情報収集の大切さを改めて学ぶことができました。また、知識やアセスメント技術の向上のため練習や経験を積むことの必要性に気付くことができました。

院内留学
11月から1月にかけて所属病棟ではなかなか体験できない看護技術を他病棟で見学・実践しました。技術習得、目標達成できるように日々学習しています。

意思決定支援研修
患者中心の医療を提供するために意思決定支援の必要性など基本的な考え方やガイドラインについて講義を受けました。また、実際の介入事例から具体的な支援内容を学び、グループワークでは自部署での意思決定支援がどんな場面が必要かを考えました。看護師は患者と家族にもっとも近い存在であることを再認識し、患者の思いを実現することが重要な役割であることを学ぶことができました。



クリティカルケア認定看護師

鈴木 克俊

2024年1月よりクリティカルケア認定看護師の認定を受け、現在救命センターで勤務しています。クリティカルケア認定看護師は、2020年度から始まった分野で救急看護分野と集中ケア分野を統合しています。それに加えて、3区分の特定行為を組み込んだ認定看護師分野です。当院に救急搬送された患者と家族を対象に重症度、緊急度を臨床推論から判断し、重篤化回避、早期回復を実践しています。そして、患者家族の不安や恐怖といった心理、社会的状況をアセスメントしサポートを行っています。認定活動と特定行為のどちらも院内で横断的に活動することを目指し、急性期病院として質の高い看護が提供できるように活動の場を広げていきたいと考えています。



がん化学療法看護認定看護師

佐藤 留美

近年のがん薬物療法は、新薬の開発に伴い進化し続けています。従来の抗がん薬だけではなく、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬の特徴を理解し、患者さんにとって安全・確実な投与管理と副作用の症状マネジメントを行っています。また、院内全体としての安全な投与管理を目指し、がん薬物療法に関連したスタッフ教育も行っています。がん薬物療法は入院治療から通院治療へとシフトしています。できるだけ治療前と同じ生活を維持しながら療養生活を送ることを目指し、患者さんやご家族のセルフケア能力を高められるよう、お手伝いしたいと思っています。



認知症看護認定看護師

荒堀 良太

私は、2021年に認知症看護認定看護師の認定を受けました。認知症ケアチームとして活動し、入院患者様が安心して治療を受けることができるよう病棟スタッフと協働しています。また、入院によって生じる認知機能や身体機能の低下予防、せん妄の早期改善を目標とした院内デイケアを、作業療法士を中心として週に3回行っています。院内デイケアでは、楽しそうな表情でプログラムに取り組む様子が見られ、患者様ご自身のみではなくご家族からも喜びの声を頂いています。患者様は入院することによって不安や戸惑いを感じる事が多くあります。患者様、ご家族が安心して入院治療を受けることができるよう、また、その人らしい暮らしを継続できるように、多職種で協力しながら持てる力を活かした関わりを行っています。

部署紹介

釧路・根室地区唯一の救急救命センターの指定を受け、ドクターヘリの基地病院であり、道東の救急・重症患者を受け入れています。
ICU入院中から早期回復、退院後の生活を見据えた治療やリハビリテーションを行い、医師・看護師・理学療法士をはじめとした多職種によるチーム医療の展開を行っています。
患者とその家族に寄り添い、日々の患者の状態に合わせたベストな看護が提供できるよう病棟全体で協力しながら、患者が安心・安全に療養できる環境作りを目指しています。



ICU

緩和ケア病棟



緩和ケア病棟は、抗がん剤治療の継続が難しくなったがん患者さんが直面するからだとこの苦痛に対して治療やケアを行う専門の病棟です。患者さんやご家族が穏やかに過ごせるよう医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士など、さまざまな専門職が協力して患者さんご家族を支えます。がんそのものに対する治療である手術や抗がん剤治療などは行っていませんが、患者さんの苦痛を和らげるために症状緩和の治療を主体としています。

年に数回ボランティアによる音楽祭を開催しており、患者さんやご家族から好評です。また、痛みや辛い症状がコントロールされてきた時期はご家庭で家族と共に貴重な時間を過ごして頂くことを目指しています。

産科では妊娠中から出産・産後まで継続したケアを提供しており、助産実践能力の認められた「アドバンス助産師」が在籍しています。また、道東初の無痛分娩や、産後の母子のサポートを行う産後ケア事業、安心して育児ができるように個室での指導などに力を入れています。
婦人科では、治療や手術にできるだけ不安なく臨めるよう、また退院後に安心して生活できるよう、患者様に寄り添う看護を大切にしています。
小児科では、乳幼児から学童、小児期発症の慢性疾患を持った成人まで、幅広い年齢層の患者さんの看護をしています。
小児科は気管支炎・肺炎などの急性期疾患や慢性疾患、手術を受ける患者さんが入院しています。
入院している子供たちが少しでも不安なく、またご家族が安心して入院生活を送れるよう療養環境を工夫して、治療・看護を行っています。



4F病棟



救急外来



釧路地域唯一の救命救急センターである当院は、疾患や診療科を問わず24時間365日、患者さんを受け入れています。患者さんは軽症から重症、緊急性のある超急性期と様々です。常に患者さんの緊急度・重症度を把握し、迅速かつ専門的な検査や治療、緊急手術に対応しています。
また、検査や治療だけではなく、患者さんや家族の不安に耳を傾けて少しでも力になれるよう寄り添っています。入院中だけではなく自宅や施設で安心して過ごせるよう、各外来や地域連携室と連携した看護も行っていきます。
当院は道東ドクターヘリの基地病院であり、道東地域の救急医療に寄与しています。フライトナースとしてドクターヘリに搭乗し、院外でも活動を行っています。

病院への交通アクセス



釧路駅からの交通

- 釧路バス…所要時間 約10分(市立病院下車)
 - 2番 若草団地線
 - 12番 文苑公住線(緑ヶ岡経由)
 - 17番 白樺線(湖陵高校経由)
 - 55番 南北線(第2若草経由)
- タクシーご利用の場合…所要時間 約8分

他方面からのバス利用

- 釧路バス
 - 100番 イオン線
 - 特急ねむろ号…釧路(市立病院)⇄根室
- 阿寒バス
 - 鶴居線・幌呂線
 - 市立病院⇄釧路駅⇄湿原展望台⇄鶴見台⇄鶴居村⇄新幌呂
 - 阿寒本町線・リフレ線・鶴野線
 - 市立病院⇄釧路駅⇄動物園⇄山花温泉リフレ⇄阿寒町
 - 釧路羅臼線・釧路標津線・ウトロ線
 - 市立病院⇄釧路駅⇄中標津町⇄標津町⇄羅臼町⇄ウトロ



市立釧路総合病院

〒085-0822
釧路市春湖台1番12号
tel.0154-41-6121
fax.0154-41-4080
URL <https://www.kushiro-cghp.jp>

